

可燃ごみ袋の材質と厚さが変わります

指定ごみ袋は、今年4月に「平袋タイプ」から「レジ袋タイプ」といたしました。

町民の皆さまから「結びやすくなった、運びやすくなった」との意見がある一方で、「可燃ごみ袋が破けた、裂けた」という意見が多く寄せられていることから、次のお取り扱いを変更いたします。

①可燃ごみ袋の材質と厚さを変更し破れにくいいたします。

②変更の時期は12月中旬頃を予定しております。

※なお、料金については変更ありません。今までの袋も引き続き使用できますが、変更前のまとめ買いは控えていただきますようお願いいたします。

4月からの可燃ごみ袋（レジ袋タイプ）の交換を希望されるかたは、販売店での発売



が変わります

と同時に置賜3市5町のごみ担当窓口、置賜広域行政事務組合の事務局及び各クリーンセンターにおいて、未開封袋（10枚入り）単位でお取り替えいたします。

町民の皆さまには度々の変更でご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

■問い合わせ

○町民課くらし環境係
(☎85-6131)

○置賜広域行政事務組合千代田クリーンセンター庶務係
(☎0238-57-4004)

○置賜広域行政事務組合事務局総務課施設係
(☎0238-23-3246)

(☎0238-23-3246)

vol.6

くらしの豆知識

●高齢者の電動3・4輪車での死亡事故が発生しています！

電動3・4輪車は、高齢者などが戸外で移動する手段として自分で運転する乗り物で、シニアカー、電動カート、ハンドル形電動車いすなどと呼ばれています。

【事例1】

シニアカーに乗って下り坂を走行中に、急ハンドルを切ったらしく、車体ごと転倒し、死亡した。(80歳代男性)

【事例2】

ハンドル形電動車いすと一緒に用水路に転落した状態で発見された。救急隊が到着した時には死亡していた。(80歳代女性)

【アドバイス1】

道の端に寄りすぎると、道路外へ転落する恐れがあります。コントロールしにくい下

り坂では慎重に運転し、滑りやすい場所や砂利道などでは乗らないようにしましょう。

【アドバイス2】

安全な操作ができるよう、製造・販売業者が行う運転講習を受けるなど、練習を繰り返すことが重要です。

新しいものに乗る際にも、必ず販売業者の指導を受けましょう。

ご家族やご近所に電動3・4輪車に乗っている方がいらしたら、注意喚起をお願いします。



■問い合わせ

町民課くらし環境係
(☎85-6131)

消費生活問題講座

今どきの消費者問題について
「こんなとき、あなたならどうする？」

悪質商法など、消費者をめぐる問題があとを絶ちません。「自分のことだったら…」を想定し、その対処法などについて学習してみませんか。

▼いつ 12月14日(火)

1回目 午前10時～11時30分

2回目 午後1時30分～3時

▼どこで 中央公民館いこいの間

▼対象者 町民(1回あたり30人)

▼講座内容

○県内における消費者問題の事例紹介

○悪質商法の手口について(家庭訪問販売、電話勧誘販売、催眠商法、販売目的隠蔽、かたり商法、利殖商法、当選商法など)

○対処法やクイズ、アンケートなど

▼講師 山形県消費生活センター相談員

▼申込・問い合わせ 中央公民館(☎85-6143)

▼申込・問い合わせ 中央公民館(☎85-6143)

▼申込・問い合わせ 中央公民館(☎85-6143)